令和４年度大分県学力定着状況調査結果について

１　調査について

（１）実施期日
　　令和４年４月２６日（火）実施

（２）調査対象学年
　　小学校第５学年（日田市：４８５人）　　中学校第２学年（日田市：４７９人）

（３）調査内容
　◇学習到達度調査：小学校第５学年　国語・算数・理科
　　中学校第２学年　国語・数学・理科・英語・社会
　◇総合質問紙調査：学習に対する意識や生活についての実態等に関する質問紙

（４）用語の説明
　◇偏差値：個人や集団の相対的位置を、５０を基準とした指数として表す指標。

２　令和４年度調査結果について

【小学校５年生】

＜教科全体＞

	国語	算数	理科
日田市	５１	５２	５１
大分県	５２	５３	５１

＜知識・活用＞

	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
日田市	５０	５１	５２	５１	５０	５１
大分県	５１	５２	５３	５２	５１	５１

【中学校２年生】

＜教科全体＞

	国語	社会	数学	理科	英語
日田市	５１	５０	５０	４８	４９
大分県	５２	５１	５１	５１	５０

＜知識・活用＞

	国語		社会		数学		理科		英語	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
日田市	５１	５１	５０	５０	５０	４９	４８	４８	４８	５０
大分県	５１	５１	５１	５０	５１	５０	５１	５１	５０	５０

３　総合質問紙調査結果について

（１）生活習慣・家庭での学習習慣等に関する回答状況（数値は肯定的回答の割合：％）

【自己認識・社会性等】

質問事項	小学校５年生		中学校２年生	
	日田市	大分県	日田市	大分県
自分なりにがんばったことを、先生がみとめてくれて、うれしかったことがありますか。	85.2	86.8	90.8	86.5
自分にはいいところがあると思いますか。	72.6	69.6	67.5	64.6
将来、あんな人になりたい、こんなことがしたい、こんな仕事につきたいという、夢や目標がありますか	87.0	87.2	74.6	72.4
学校に行くのは楽しい	69.3	76.4	74.0	78.5
学校のきそくや、クラスで話し合って決めたことを、守っていますか	91.4	90.6	93.1	94.0
お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか	72.2	66.5	79.2	64.3

【生活習慣・家庭での学習習慣】

質問事項	小学校５年生		中学校２年生	
	日田市	大分県	日田市	大分県
朝食は毎日食べていますか	90.5	89.6	86.0	87.8
家で勉強するときは、自分で計画を立てていますか	58.4	61.1	47.8	48.0
１日の勉強時間はこれくらいと、めやすを決めていますか。	43.8	51.2	40.9	46.8
平日に、どれくらいの時間、テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり、聞いたりしますか【２時間未満の割合】	57.2	62.5	65.2	67.3
平日に、どれくらいの時間、テレビゲームをしますか（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームも含む）【２時間未満の割合】	64.9	67.6	52.9	57.3
平日に、どれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか【２時間未満の割合】	※86.3	※87.2	※74.6	※77.6

※平日の携帯電話やスマートフォン等の調査に関しては、全国値がないため県との比較のみ。

（２）学習に対する意識等に関する回答状況（数値は肯定的回答の割合：％）

【教科に関すること】

質問事項	小学校５年生		中学校２年生	
	日田市	大分県	日田市	大分県
国語の勉強はどれくらい好きですか	56.6	58.5	57.9	61.2
国語の勉強はどれくらい分かっていますか	84.0	89.1	81.6	82.8
社会の勉強はどれくらい好きですか	56.6	55.9	62.5	60.5
社会の勉強はどれくらい分かっていますか	81.9	84.5	65.4	69.2
算数・数学の勉強はどれくらい好きですか	58.6	59.5	48.4	54.2
算数･数学の勉強はどれくらい分かっていますか	80.0	83.6	73.6	68.8
理科の勉強はどれくらい好きですか	74.7	72.6	61.6	68.1
理科の勉強はどれくらい分かっていますか	86.4	88.4	69.0	77.1
英語の勉強はどれくらい好きですか	※67.9	※65.4	53.5	50.8
英語の勉強はどれくらい分かっていますか			57.2	59.8

※小学校の「英語の勉強はどれくらい好きですか」は全国値がないため県との比較のみ。

【授業での学習状況】※「学びに向かう力」「新大分スタンダード」に関連

質問事項	小学校５年生		中学校２年生	
	日田市	大分県	日田市	大分県
クラスや友だちの間で、話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言するほうですか。	59.7	57.8	47.2	51.8
学校の勉強で分からないことがあったときは、そのままにせず誰かに聞いていますか。（「そのままにしてしまう」と回答した割合）	6.6	5.6	7.1	8.0
小学４年生までに（中学１年生の時に）受けた授業の中でめあてや課題が示されていたと思いますか。	84.0	87.6	94.8	94.1
小学４年生までに（中学１年生の時に）受けた授業の最後に学習内容のまとめや振り返りをよく行っていたと思いますか。	80.9	82.6	77.4	81.4
小学４年生までに（中学１年生の時に）受けた授業では、友だちとの間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。	80.2	84.2	86.6	88.6
小学４年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて調べたり、話し合ったりしながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。（中学１年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。）	74.7	77.9	73.0	76.3

４　現状と分析について

小学校

＜現状＞

（１）結　果

○偏差値＜知識・活用（３教科６項目）＞は、すべて５０を上回った。

（２）成果と課題（全国値との比較）

	成果が見られたもの	課題が見られたもの
国語	・漢字の読み ・文章を書く（７～９行、２段落構成、事実と考え）	・漢字の書き ・登場人物の気持ちを読み取る。 ・説明文の内容を読み取る。
算数	・角の大きさ ・小数、分数	・面積 ・整数、仮分数、帯分数、真分数の大小比較
理科	・動物のからだのつくりと運動 ・自然の中の水	・水のすがた（温度変化、湯気）
総合質問紙	・話し合い活動で積極的に発言している。 ・将来の夢や目標がある。 ・きまりを守っている。	・教科の勉強が好き。 ・勉強がわからないときは誰かに聞いている。 ・学校に行くのは楽しい。 ・朝食を毎日食べている ・１日の勉強時間のめやすを決めている。

＜分析＞

○知識、活用ともにすべての教科で偏差値５０及び目標値を上回っている。

○１月実施の日田市実施分学力調査で課題が見られた国語、理科の知識・技能及び理科の活用については、３学期の補充学習等により改善が見られた。

○記述による解答形式の正答率が全ての教科で全国値同等もしくは上回っており、各教科で自分の考えを書く活動や、ペア・少人数で自分の考えを伝え合う活動が、各学校で実践されていると考えられる。

○「教科の勉強が好き」と回答する児童がすべての教科で全国値を下回ったことから、「主体的に学習に取り組む態度の育成」が課題となった。授業の「振り返り」の時間を活用し、「本時の自身の学びや成長を振り返る」時間を充実させることが必要と考えられる。また、「授業が分かる」と回答する児童が国語と算数で全国値を下回ったことから、教師のＩＣＴ機器の活用等での工夫はあったものの新型コロナウイルス感染症対策による活動の制限が児童の深い学びに影響を与えたことが考えられる。

中学校

＜現状＞

（１）結　果

○偏差値＜知識・活用（５教科１０項目）＞は、６項目で５０を上回った。

（２）成果と課題（全国値との比較）

	成果が見られたもの	課題が見られたもの
国語	・漢字を読む、書く ・書くこと（作文）	・互いの発言を結びつけて考えをまとめる
社会	・日本の姿（地理分野）	・世界各地の人々の生活と環境 ・世界の諸地域（地理分野） ・中世の日本（歴史分野）
数学	・文字式	・データ分布の傾向 ・平面図形、空間図形
理科	・身の回りの物質とその性質	・物質の状態変化 ・力の性質　　・火山 ・地震　　・地層 ・水溶液の性質
英語	・語彙の知識・理解 ・３文以上の英作文	・リスニング（対話文の応答） ・リスニング（さまざまな英文の聞き取り） ・語形・語法の知識理解 ・場面に応じて書く英作文 ・情報に基づいて書く英作文
総合質問紙	・将来の夢や目標がある。 ・自分にはいいところがある。 ・きまりを守っている。 ・地域の行事に参加している。 ・教科の勉強が分かっている。	・意見を積極的に発言する。 ・家で勉強するときは、自分で計画を立てている。 ・勉強がわからないときは誰かに聞いている。 ・朝食を毎日食べている。

＜分析＞

○教科全体では国語、社会、数学で偏差値５０と同等もしくは上回っている。
１月実施の日田市実施分学力調査で課題が見られた国語の知識・技能の定着については、３学期の補充学習等により改善が見られた。

○英語の知識・技能の定着については引き続き課題が見られた。また、１月の日田市実施分学力調査では全国値以上だった理科で今回全国値を下回った。１月時点での課題については改善が見られているが、３学期の学習内容の習熟に課題が見られる。

○各学校はグループでの話し合いの機会を確保しているが、生徒が授業で「考える、表現する」時間の質の向上が必要となる。深い学びを実現するためにも、児童が各教科の見方・考え方を主体的に働かせるよう、教師が意識的に問いや資料の提示の工夫等をしていかなければならない。

５　今後の取組について

①日田市学力向上の取組（令和４年４月作成）の継続

※３つの柱(「授業改善の推進」「学習定着状況の確実な把握」「個に応じた指導の充実」)の中で重点的に取り組む内容

授業改善の推進

・授業者が付けたい力を明確に持って授業に臨む

付けたい力を明確にするとは
　→授業者が「本時で児童生徒にどんな力を付けるのか」簡潔に言えること。
（例）～を理解させる（覚えさせる）、～の計算ができるようにする
　　～考え方ができるようにする、～を用いた表現ができるようにする
　　筋道立てて説明できるようにする　等

各教科の授業改善例

【国語】話し合い活動を行う際は、身につけさせたい力を児童生徒に意識させる

【社会】複数の資料を読み取り、関連付けて思考・表現する授業の充実

【算数・数学】事柄が成り立つ理由を、根拠を明確にして説明する授業の充実

【理科】生徒自身が自然の事象に働きかけ、問題を見いだして課題を設定し、科学的に探究する学習活動を計画的に実施

【英語】リスニングについては、聞いて終わるのではなく、聞いて答える、聞いて書くなど、目的を持って英語を聞くことを日常的に繰り返す

・教師は「各教科の見方・考え方」を意識することで深い学びの実現を目指す

学習定着状況の確実な把握

・授業及び家庭学習による日常的な学習定着状況の把握
・評価テスト、単元末テスト等による定期的、客観的な学習定着状況の把握
　→短い期間でＰＤＣＡのサイクルを行う

個に応じた指導の充実

・単元末の習熟度別学習や朝会・帯タイム等を活用した補充学習の推進
　→学年部・教科部会等で自校の課題解決に向けた取組を組織的に行う
　　（ＡＩドリル Qubena、問題データベースの活用　等）

②各学校による調査結果の分析と具体的な対策の作成及び取組

・各学校は８月下旬までに調査結果を分析し、成果と課題を明らかにしたうえで、授業改善等の具体的な対策を講じ、２学期から取組を始める。